



小中学生による建設工事風景図画作品

水戸市立三の丸小学校／若松 花歩さんの作品

### △主な内容▽

- ▼ 理事会で令和2年度決算を承認
- ▼ 大井川知事へ推薦状を手渡し
- ▼ 関東地方整備局事務所、県土木部と意見交換
- ▼ 高野潔常任理事が旭日双光章を受章

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

**本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します**

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

# 令和2年度 事業成果を報告

## 理事会を開催

本会は5月11日、理事会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催し、令和2年度の事業報告・収支決算を承認しました。また令和3年度の定時総会を5月28日（金）午前11時から同センターで開催することを決定しました。

あいさつで石津健光会長は、まず新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底を呼び掛けました。また昨年12月に閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」について、事業の円滑な実施への協力を求め、「地域の守り手」としての取り組みを強化する必要があると訴えました。



石津会長

そして「建設業は担い手の確保や働き方改革、インフラ分野でのDX（デジタルトランスフォーメーション）への対応などの課題に直面しており、必要な情報収集に取り組んでいく」と述べた。

さらに「会員企業が将来にわたり経営基盤の強化を図り、地域社会に貢献し、若い人たちが夢を持って将来を託せる魅力的な建設業となるよう、新しい視点を持ちながら、積極的に事業を展開してまいりたい」と話しました。

議事では令和2年度の事業報告・収支決算、公益目的支出計画実施報告を承認しました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ、公共事業予算の安定的な確保・拡大への活動、新・担い手3法などの法改正への対応、経営改善に向けた講習会などを開催。働き方改革へ向けては毎月第2・第4土曜日の県内公共工事の一斉休工に取り組みました。



令和2年度の事業報告などを承認しました

技能者の処遇改善に向けては、建設キャリアアップシステムへの対応などを進めました。地域貢献活動としては城里町、かすみがうら市、古河市で発生した鳥インフルエンザの防疫作業に努めました。

建設業の雇用改善、人材の育成に向けては、建設現場見学会や建設業インターンシップ、雇用改善集会などを行いましたほか、「いばらき建設業就職応援サイト」の運用を開始しました。

また令和3年度の定時総会を5月28日（金）午前11時から茨城県建設技術研修センターで開催することを決定しました。

会員数については、令和2年度当初は547社でしたが、入会3社、退会8社があり、年度末には542社となりました。

なお協会として、県が推進している「いばらきダイバーシティ宣言（仮）」に協力していくことを説明しました。



# 円滑な施工確保へ協議

## 関東地方整備局、県と意見交換

本会は4月8日、国土交通省関東地方整備局の茨城県関係事務所と茨城県土木部・企業局との意見交換会をそれぞれ、水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催しました。

意見交換は、昨年度の補正予算と本年度の当初予算で公共事業費が大幅に増加していることを踏まえ、円滑な施工確保を図るために開催。

関東整備局からは原田昌直常陸河川国道事務所長など関係事務所長・副所長、県からは仙波義正土木部長や原部修一企業局次長など幹部が出席。本会からは正副会長や支部長が参加しました。

関東整備局との意見交換では、本会各支部と意見交換会を開催することや国が取り組んでいる



現場見学会について説明があり、その後、円滑な施工確保へ向けて協議を行いました。

県との意見交換では、県の令和3年度予算、公共工事の円滑な施工確保へ向けた取り組み、情報共有システムなどについて話し合いました。

## 本会が大井川知事へ推薦状

### 知事選挙



石津会長（左から4人目）が大井川知事（右から4人目）へ推薦状を手渡しました

本会の正副会長は4月27日、県知事室を訪れ、現職の大井川和彦知事に茨城県知事選挙への推薦状を手渡しました。

石津健光会長は「大井川知事のこれまでの県政における実績や政策を高く評価している。引き続き知事として県政のかじ取りを担っていただき

たく、期待を込めて推薦状を手渡した。今後も県民生活に欠かせない社会資本整備、安心・安全、豊かで住みよい魅力ある県土づくりに手腕を發揮していただきたい」としています。

知事選挙は大井川知事の任期満了（令和3年9月25日）に伴い行われます。大井川知事は現在1期目。

## 高野潔氏（本会常任理事 常陸大宮支部長）が旭日双光章を受章

おめでとうございます

令和3年春の叙勲で、本会の高野潔常任理事（常陸大宮支部長、(株)高野工務店代表取締役社長）が旭日双光章の栄に浴されました。まことにおめでとうございます。ますますのご活躍を祈念申し上げます。

高野氏は昭和24年3月19日生まれの72歳。昭和46年に日本大学理工学部を卒業後、(株)東設計事務所に入社。設計・監理業務の技術習得に努めた後、昭和48年に(株)高野工務店に入社。平成5年から代表取締役社長を務めています。

社業では創意工夫を凝らしつつ、経営の合理化、施工現場での生産性向上および労務安全管理などに積極的に取り組んでいます。

茨城県発注工事や国の災害復旧工事では多くの優良工事表彰を受賞するなど、信頼性、技術力が高く評価されています。

本会では平成10年5月に理事、平成22年5月に常任理事に就任。本会常陸大宮支部では平成27年9月より支部長を務めるなど、施工現場の経験と豊富な見識を生かし、工事技術の研さんや地場建設業の育成、若年労働力の確保などに尽力しています。

### 高野潔常任理事の話

「受章は諸先輩や関係者各位のご指導の賜物であり、感謝申し上げます。コロナ感染症拡大の厳しい状況の中ではありますが、これからも業界発展のため微力を尽くしていきたい」



平成23年3月の東日本大震災、令和元年10月の台風災害では早期の状況把握に努め、応急復旧に力を尽くされました。

そのほか建設業労働災害防止協会茨城県支部では理事、同支部水戸分会では副分会長、茨城県建設業協同組合では理事をそれぞれ務めています。

これまでに令和元年7月に国土交通大臣表彰を、平成26年5月に全国建設業協会会長表彰などを受賞されています。

## ◆◆◆◆ 新規入職者研修会がスタート ◆◆◆◆

本会では、会員企業の新規入職者を対象とする令和3年度の研修会を4月12日から開始しました。研修会は全6回行い、建設業の役割や安全管理、品質管理などを学んでもらいます。

研修会は、新規入職者が少しでも早く「一人前」になるために必要なものを身に付けてもらおうと開催。また会社を超えた同期の人たちとコミュニケーションを取ってもらうために行っています。

研修会は、会員企業の皆さんから定期的な実施

を求める声が多いことに対応し、昨年度から全体で6回開催。今年度も来年3月14日まで全6回、行います。講師は(株)創成マネジメントの宇野三四郎氏などが務めます。

4月12日の研修会では建設業の役割と特徴、ビジネスマナーなどを学びました。今後は安全管理や品質管理、原価管理、工程管理、コミュニケーション、キャリアアップ、マネジメントなどを研修します。

## 体験学習やインターンシップ

**本会の教育支援活動が高評価**

本会では、毎年度実施している建設業体験学習やインターンシップなどの教育支援活動について、県内の小中学校や高校、専門学校、会員企業、全国の建設業協会を対象に実施した実態とニーズに関するアンケート調査の結果をまとめました。実施している教育支援活動は、学校、会員企業、全国の建協の全てから評価されていることが分かりました。

課題としては、学校と会員企業のニーズに沿った活動、効果的な活動へ教材などノウハウの提供、学校と会員企業を結び付ける機能の強化、活動を行う会員企業の増加による受入体制の強化を挙げています。

そのため今後は、学校と会員企業のマッチング機能の強化、支援ツールの充実、活動に参加した生徒や教員の意見などを参加企業に還元していくことが求められています。

本会では建設業の魅力発信や若い世代の入職を促すため、教育支援活動として建設フェスタの開催や現場見学会、インターンシップなどを行っています。

アンケート調査は、これらの活動の継続や情報発信のために業界と教育現場の両方から実態とニーズを把握するために昨年10～11月に実施。他道府県建協からも意見を募りました。有効回答数は学校387校、会員企業86社、他都道府県38協会。

調査によると、学校からは職場体験などの支援活動は「満足」「やや満足」の合計が9割超。会員企業も「評価する」が5割を超えています。他協会でも、自協会で行っている同様の活動の効果を実感していると回答していました。

活動の課題は、学校と会員企業のニーズに沿った活動を行うこと。学校では進路を考える機会と認識し、会員企業は採用活動の一環と捉えていま

## 教育支援関連事業への評価（茨建協会員の回答）

事業内容	評価する
現場見学（高校・専門・大学）	54.1%
現場実習（高校・専門）	58.8%
現場見学・実習感想文集（高校・専門・大学）	45.2%
インターンシップ（現場以外、高校・大学）	42.4%
高校生資格取得支援（高校）	40.0%
建設工事風景図画コンクール（小中学校）	38.8%
砂場クリーン作戦（幼稚園・保育園）	47.1%
建設業体験学習（中学校）	48.2%

す。そのため両方のニーズを踏まえた活動が求められます。

また効果的な活動を行うためのノウハウや教材を提供すること、活動を行うための調整や労力、活動を行う会員企業の増加による受入体制の強化も課題に挙がっていました。

そのため今後の活動の方向性については、茨建協が学校と会員企業の橋渡し役を強化すること、教材などの支援ツールの充実、参加した生徒や教員などの評価を会員企業に還元していくことが求められます。

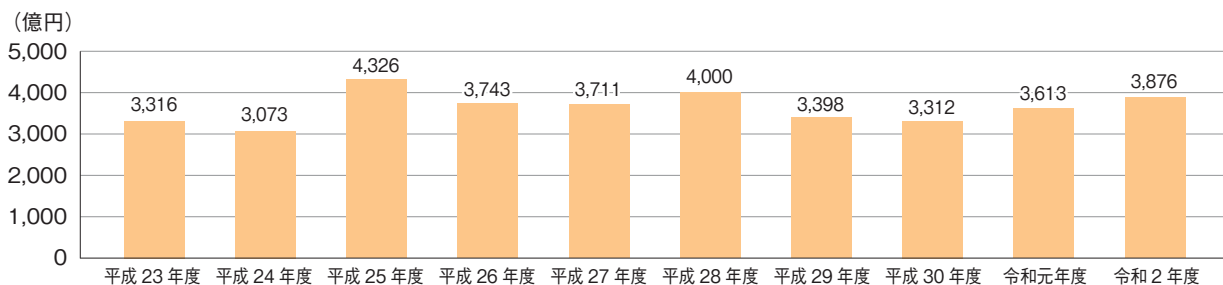
アンケート調査結果は本会のホームページにも掲載していますので、ご活用ください。



# 過去10年間で3番目の請負額に

## 令和2年度の 県内公共工事

### ■ 県内公共工事の過去10年間の推移



東日本建設業保証(株)茨城支店がまとめた前払金保証実績から見た令和2年度（2年4月～3年3月）の県内公共工事（施工場所が県内）の動向によりますと、件数は7,002件で前年度比で0.2%減ですが、請負金額は3,876億9,700万円で同7.3%増でした。

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策を計上した補正予算が編成され、発注されたことなどにより前年度を上回りました。

請負金額を過去10年間で見ますと、平成25年度の4,326億円、平成28年度の4,000億円に次いで3番目に多くなりました。

2年度の請負金額を発注者別に見ますと、国や独立行政法人等、県は増加。一昨年度に大型工事が多かった市町村は減少しました。

令和3年度については、2年度補正予算の繰越分などが発注されるため2年度を上回ることが見込まれます。

また、公共工事（施工場所が県内）の中間前払金の取扱状況によりますと、令和2年度は件数は178件で前年度と比べ12.3%減となりましたが、請負金額は319億7,800万円で同29.0%増となりました。発注者別の請負金額は県や市町村、地方公社が増加しました。

県内公共工事の動向 (金額単位：百万円)

項目	令和2年度 (4月～3月)		対前年度増減率	
	件数	請負金額	件数	請負金額
発注者				
国	411	63,345	9.6%	31.0%
独立行政法人等	143	44,635	0.7%	129.3%
県	3,019	119,063	1.1%	7.1%
市町村	3,194	134,412	-2.0%	-1.2%
地方公社	48	2,397	9.1%	-15.1%
その他	187	23,842	-11.0%	-45.2%
合計	7,002	387,697	-0.2%	7.3%

## 県監理課のホームページに掲載

### 今年度の建設業経営者研修会

本会は茨城県土木部と共に毎年度、建設業の健全な発展に資する知識の啓発・情報提供を行うため建設業経営者研修会を開催していましたが、令和3年度につきましては新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、県土木部監理課のホームページに研修内容を掲載し、会員企業の皆さんに研修していただくことになりました。研修内容の掲載時期や掲載内容は決まり次第、お知らせいたします。

# 令和3年度7月～9月 講習会日程

## 建災防県支部

建設業労働災害防止協会茨城県支部は、令和3年度の7月から9月までの各種講習会等の日程をまとめました（別表）。講習会等の問い合わせ・申し込みは建災防県支部（水戸市大町3-1-22茨城県建設センター3階、電話029-300-4638）または分会へお願いします。

一部の講習は「人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース：経費助成・賃金助成）」の対象となります。助成金の詳細や申請用紙・記載例は厚生労働省のホームページに掲載。助成金申請の問い合わせや書類の提出先は「茨城労働局職業対策課 建設分野の助成金担当」（電話029-224-6219）です。

### 令和3年度開催予定表（7月～9月）

月	日	曜日	講習名	会場	備考
7	2	金	酸素欠乏・硫化水素危険作業	茨城県建設技術研修センター	
	12	月	フルハーネス型安全帯特別教育	茨城県建設技術研修センター	
	15 16	木 金	職長・安全衛生責任者	鹿嶋勤労文化会館	
	20 21	火 水	足場作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	26 27	月 火	型枠作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	29 30	木 金	建築鉄骨作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
8	3 4	火 水	木造作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	5 6	木 金	職長・安全衛生責任者	茨城県建設技術研修センター	
	12	木	フルハーネス型安全帯特別教育	茨城県建設業協会筑西支部会館	
	20	金	足場の特別教育	茨城県建設技術研修センター	
	23 24	月 火	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)
	25	水			(実技)
	26 27	木 金	石綿作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
9	3	金	フルハーネス型安全帯特別教育	茨城県建設技術研修センター	
	13	月	職長・安全衛生責任者能力向上	茨城県建設技術研修センター	
	15 16	水 木	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	17	金			
	21 22	火 水	足場作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	28 29	火 水	小型移動式クレーンの運転	建荷協研修センター	(学科)
	30	木			(実技)

※各種講習会の受講申込書は建災防茨城県支部のホームページからダウンロードできます。

大子支部  
活動報告

# 小中学生に 除菌剤寄贈



大藤支部長（右）が除菌用品を手渡しました

大子支部（大藤博文支部長）は4月22日、大子町の小中学生にペンタイプのアルコール除菌剤を寄贈しました。大藤支部長が高梨哲彦町長と松本成夫教育長に除菌剤を手渡しました。

コロナ禍の中で大藤支部長は「16歳以下の子供たちはワクチンの接種が出来ない。携帯できる除菌スプレーを使って、より元気に過ごしてもらいたい」と話しました。高梨町長は「配慮していただき誠にありがたい」と感謝を表しました。



常総支部  
活動報告

# 歩道橋の 花壇を整備



花壇にマリーゴールドや芝桜などを植え付けました

常総支部（中川原勇支部長）では4月6日、令和3年度の支部事業として建設未来協議会の常総支部会員が国道294号バイパスの豊加美歩道橋の花壇整備を実施しました。歩道橋の花壇にマリーゴールドや芝桜など5種類の花を植え付けました。歩道橋が小学校の通学路になっていることから、常総支部では春・秋の年2回、花の植え付けを行っています。



作業の参加者

## 会員の動向

### 〈代表者変更〉

- ▽水戸支部  
中村工業(株) 中村信夫 → 中村信行
- ▽潮来支部  
(株)波崎建設 下館三久 → 下館雄樹